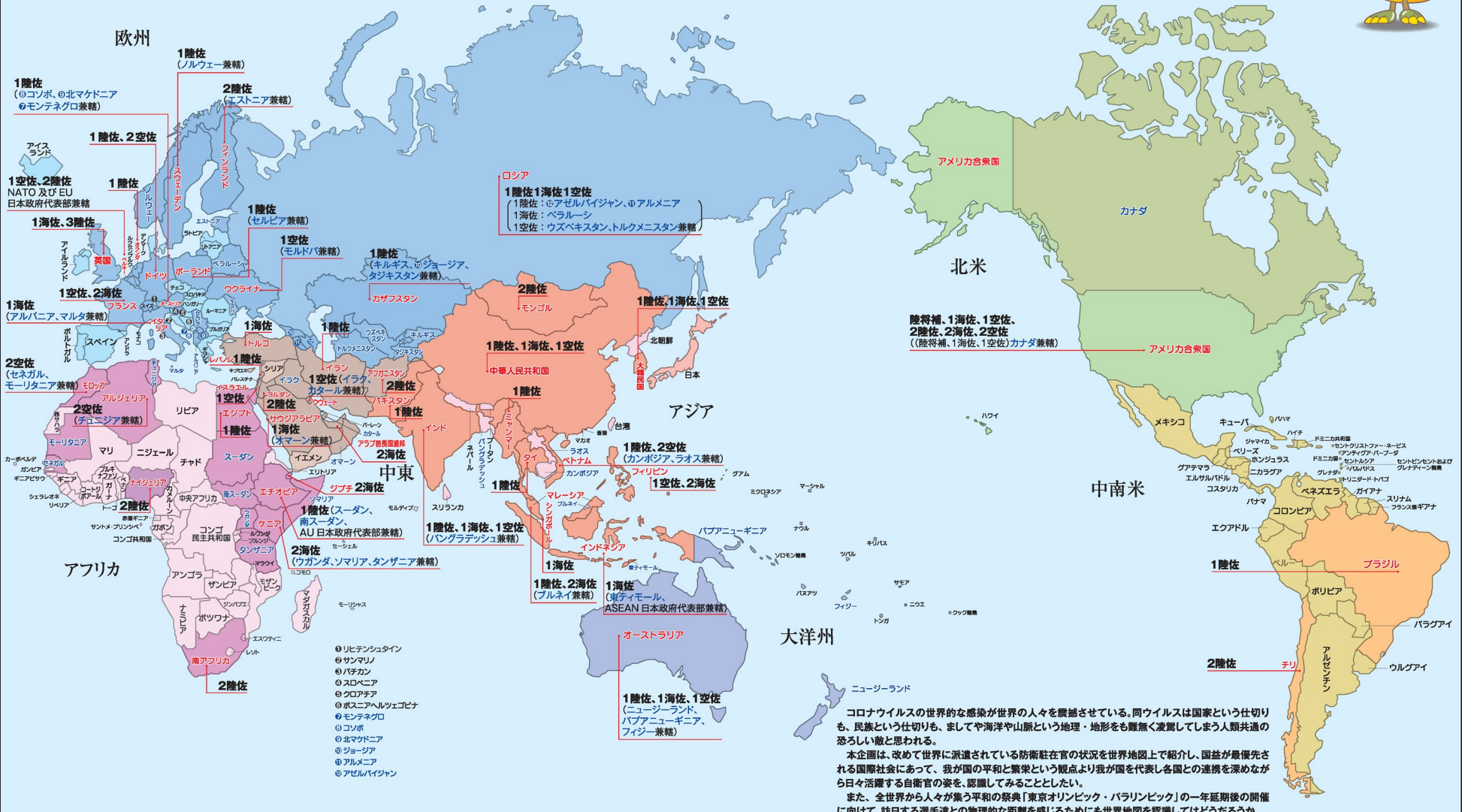


全世界で活躍する防衛駐在官たち



地図の見方

- 国名の色 **赤** → 派遣国
- 青** → 兼任
- 黒** → 派遣なし

派遣先合計

83大使館 6代表部
 うち在勤46大使館2代表部
 (国際連合日本政府代表部 1陸佐・軍輔会議日本政府代表部 1空佐)

1 任務

防衛駐在官は、世界各国や機関に派遣され、我が国の安全保障の観点から、主として軍事情報の収集や諸外国の軍人と交流を行っている自衛官である。また、彼らが発信する情報は、我が国に対する理解促進の面からも極めて重要となっている。特に、軍人同志の交流によって得られる情報は、インターネットなどによる情報とは別次元の価値をもたらすと考えられている。

2 身分

各国は国防などから軍人(武官)としての派遣であるのに対し、我が国にあっては戦前の教訓から、「外交の一元化」の名のもと外務省職員としての身分を合わせて持つての派遣である。軍事専門家の役割だけではなく外交官としての役割をもこなしている自衛官のご苦労に目を向ける必要がある。

コロナウイルスの世界的な感染が世界の人々を震撼させている。同ウイルスは国家という仕切りも、民族という仕切りも、ましてや海洋や山脈という地理・地形をも離無く渡襲してしまう人類共通の恐ろしい敵と思われる。

本企画は、改めて世界に派遣されている防衛駐在官の状況を世界地図上で紹介し、国益が最優先される国際社会にあって、我が国の平和と繁栄という観点より我が国を代表し各国との連携を深めながら日々活躍する自衛官の姿を、認識してみることとした。

また、全世界から人々が集う平和の祭典「東京オリンピック・パラリンピック」の一年延期後の開催に向けて、訪日する選手連との物理的な距離を感じるためにも世界地図を認識してはどうだろうか。